

## マルチバーク難燃剤入 50ℓ入り 夏の乾燥を防ぎ、霜の害を防ぐ

見積

バークマルチでは長年の販売実績のあるフジミが、今までのバークマルチの欠点であった燃焼に対して、研究の結果消火剤等を加え、さらに難燃性を向上させた上、修景効果もグレードアップした新製品が「マルチバーク難燃剤入」です。

### ■効果

#### 1. 地温急変の抑制

保温効果が高く、活着とその生育を早め、霜害を防止します。

#### 2. 土壌水分の保持

夏季の乾燥の防止力が強く、粗材繊維によって雨水の浸透が良いため、土壌水分を良好に保持します。

#### 3. 雑草の発生を抑える

地表面に直接日光があたらないので、雑草の発生を抑え、維持管理が楽です。

#### 4. 土壌構造の改善

土壌の温度と湿度を保つため微生物が働き易く、土の団粒構造を助けます。

#### 5. 土壌の流失を防ぎます。

#### 6. 植栽地表面の美観を整えます。

#### 7. マルチバーク難燃剤入は、木材のチップ(小木片)とバーク(樹皮)で時間の経過とともに土壌の有機質堆肥となります。

#### 8. マルチバーク難燃剤入は、強風や降雨による飛散流亡を防ぐように粘結剤を混合してありますので、平地・斜面ともに持続性が向上します。

### ■難燃性テスト

- 水分量30%以下に乾燥させたマルチバーク難燃剤入を5cm厚で木枠内に敷詰める。
- 業務用扇風機にて十分に風を当てた所に燃えている炭火、タバコを乗せて5分間放置する。



### ■材料使用量

(100㎡当り)

厚さ	数量	備考
3cm	3,600 ℓ	20%ロス
5cm	6,000 ℓ	20%ロス

### ■施工方法

- 地ならしや、刈り込みによる雑草処理を行ないます。
- マルチバーク難燃剤入を3～5cm厚に均等に敷詰め、角スコップや土羽板で軽く転圧します。
- マルチバーク難燃剤入に入っているアスファルト乳剤(粘結剤)により、安定したマルチ面が持続します。

## マルチバーク 50ℓ入り 土の乾燥を防ぎ、霜の害を防ぐ

見積

健全な農業及び自然的緑化事業を成功させるため、土壌表層の管理であるマルチング工法の素材として樹皮(バーク)を粉碎製造されたマルチング材料です。

### ■効果

#### 1. 地温急変の抑制

保温効果が高く、活着とその後の成育を早め、霜害を防止する。

#### 2. 土壌水分の保持

暖期の乾燥の防止力が強く、粗材繊維によって雨水の浸透が良い。

#### 3. 雑草の発生を抑える

地表面に直接日光があたらないので、雑草の発生が少ないため維持管理が楽。

#### 4. 土壌構造の改善

土壌の温度と湿度を保ち、微生物が働き易いため団粒構造を助ける。



## マルチバーク のり入り 50ℓ入り

見積

### 斜面用マルチバークの特性

- ①斜面用マルチバークは強風や降雨による飛散流亡を防ぐように粘結剤を混合してありますので、平地・斜面ともに持続性が向上します。
- ②斜面用は有機質リグニン系の粘剤とアスファルト乳剤を使用しています。地表面でのマルチ材の安定性を高めるだけでなく、暖季や雨期によくある虫の発生を抑制します。
- ③斜面用に混合されている粘剤のために散布後の色ムラが少なく、美観を高めるとともに、表面硬化しても樹皮繊維の空隙より降雨散水による土壌への水分流入が妨げられることはありません。

### マルチバークの施用量の例

- ◎植栽地の地表面をすきまなく覆い、厚さは3cm～10cm程度を目安とする。



### 1袋50ℓの散布面積

厚さ	面積
2cm	2.5㎡
3cm	1.7㎡
5cm	1.0㎡



### 使用方法

地表に適量を平均に散布してから、平スコップ等で軽く叩いて填壓してバークの安定度を高めます。使用仕上り厚は散布厚より若干の敷厚が目減りがあります。